転倒 骨折 事故防止対策

AD倶楽部の会員は団体割引適用

センサーも 見守りも 不要

■主催：有限会社 七七舎／ブリコラージュ
■共催：株式会社 安全な介護

どんなに「見守り」を強化しても、お年寄りの転倒事故を防止することは難しいと言われています。なぜなら、転倒の原因には、歩行機能低下だけでなく、服薬、認知症、福祉用具、介助動作など、さまざまな要因が絡んでいるからです。さらに、歩行中や立位からの転倒は、たとえ介護職がそばに付いて介助していても防げないことが多いのです。「安全な介護」では、介護現場で実際に起こった事例を緻密に分析することで、職員の負担を増やさず、従来の半分の労力で倍の効果を生む秘策を編み出しました。ぜひ、会場で体験してください（定員60名）。

講師
山田 滋
（やまだ・しげる）

株式会社安全な介護代表。1982年に現あいおいニッセイ同和損保入社。インターリスク総研を経て2013年6月より現職。高齢者福祉施設や訪問介護事業者と一緒に、現場で積み上げたリスクマネジメントの方法論が「わかりやすく実践的」と好評。

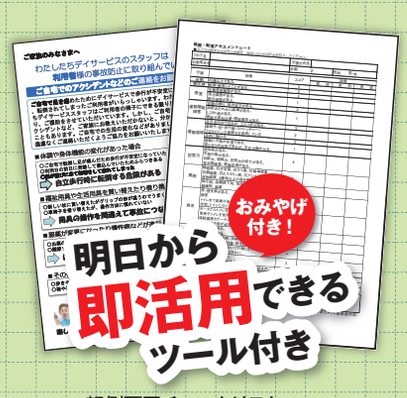
横浜会場
9月26日（水）
時間 13:30 ～ 16:30
場所 ウィリング横浜 127号室
神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー内
●京浜急行・市営地下鉄上大岡駅下車より歩３分

東京会場
10月3日（水）
時間 13:30 ～ 16:30
場所 あいおいニッセイ同和損保 新宿ビル４階会議室
東京都渋谷区代々木 3-25-3
●新宿駅南口より歩８分

受講料 ※お支払方法については お申込み時にご案内いたします。 8,000円（団体割引 5,000円）

プログラム内容

1. **施設の転倒事故防止対策の現状**
   なぜ防げない転倒事故を防ごうとするのか？
2. **介護のプロとして防ぐ義務の重い転倒事故とは？**
   防止対策の優先順位、介護事故と生活事故という考え方
3. **転倒事故の原因分析とリスクアセスメント**
   介護職要因だけでなく、利用者要因や環境要因も調べる
4. **防止対策の検討は**
   なぜ居室の床は固いのか？転倒しても骨折をさせない対策
5. **転倒事故発生時の対応**
   経過観察後、整形受診中に意識不明、なぜ頭部触診を怠ったのか？



- 転倒要因チェックリスト
- 危険箇所点検記入表
- 危険箇所改善管理表
- 転倒リスクアセスメントシート
- 高齢者が避けたほうがよい薬剤
- 高齢者が気をつけたい薬と副作用
- 向精神薬ガイドライン
- ご家族向けお知らせ見本　など

●申込・問合先

申込書は裏面に▶

七七舎／ブリコラージュへFAXかメールでお願いいたします。
安全な介護・七七舎のホームページからも申し込むことができます。

●安全な介護 HP　http://www.anzen-kaigo.com/
●七七舎 HP　http://www.nanasha.net

FAX 03-5986-1776
Mail info@nanasha.co.jp

安全な介護では事故事例を緻密に分析することで見えてくる施策を具体的に提案しています

事故例1　塩辛いものが大好きなAさん、ショート３日目に続けて転倒。なぜ？

娘さんと同居のAさん（男性 78 歳）は、医師から塩分を減らすように言われますが、聞き入れません。漬物に醤油をかけて食べます。
ある時、娘さんの都合で老健のショートステイに入所しましたが、「こんなまずい飯食えるか！」と言って、半量しか食べません。そして入所後３日目に急にふらつきが出て3回転倒し骨折しました。

原因分析のヒント！

Aさんは居宅では医者の言うことも聞かずに塩分取り放題でした。**塩分取り過ぎ生活に慣れてしまったAさん**が、老健のショートの**塩分控えめの健康的な食事**を取るとどうなるでしょう？　しかも半量しか食べていません……。

事故例2　夏でも電気毛布を放さないBさんは早朝に何度も転倒します。なぜ？

特養入所者のBさんは「おお寒い」が口癖で、夏でも電気毛布を放しません。高血圧症のためフロセミドを服用しています。
なぜか離床時から朝食前だけふらついて転倒しそうになりますが、朝食後は杖歩行でしっかり歩けます。看護師は転倒の原因は電気毛布による脱水だと言って、毛布を取り上げようとしますがAさんは放しません。

原因分析のヒント！

看護師は B さんの転倒の原因を**電気毛布による脱水と決めつけ**ています。しかし、Bさんが**飲んでいるフロセミドはループ型利尿剤**と呼ばれる**血圧降下剤**です。さあ、本当の犯人はどちらでしょう？

解決策はセミナーで！

ポジティブリスク
マネジメントセミナー

転倒事故防止対策 受講申込書

受講者ご氏名			
施設名			
施設ご住所	〒		
TEL	（　　）　　-	FAX	（　　）　　-
メール	@		
職種・役職			
参加会場	※ご希望の会場に○をつけてください 横浜　・　東京	割引団体名	ブリコラージュ読者　※○をつけてください その他【　AD 倶楽部　】

ご記入のうえFAX 送信してください

FAX 03-5986-1776

メールでお申し込みの際は、上記の項目を明記のうえご送信ください

Mail info@nanasha.co.jp